

208  
492

文覚勸進帳  
完

文  
覚  
勸  
進  
帳



国立国会図書館 文覚勸進帳 5巻 208-492

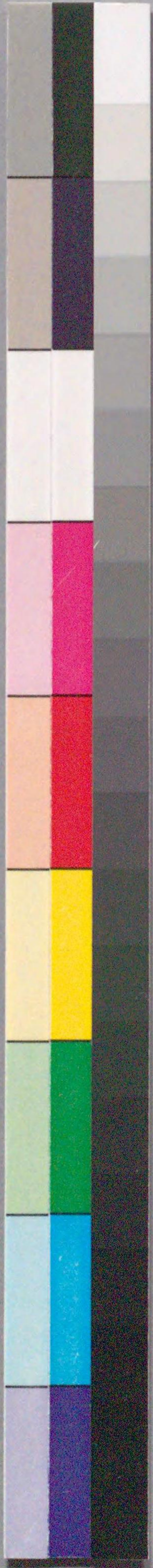
ガラス使用



文覚勸進帳

五冊

寛文五巻





文覺上人記初由

高雄山文覺上人藤原の姓なり父の遠藤末道將監  
盛光と云齡六十なり實子有さる慈と南都初瀬寺  
觀音二十七日茶籠しく祈る小不思儀や満てる夜枕法  
元不見し汝小是と授く金一と之鷲の羽一枚と給り盛光  
兩手受て妻の衣の袖内へ入ると見く夢さる夫より  
其妻四十二才ゆく始く懐胎して十二月少て出産せり  
少少て父母子離色丹波乃國の住人春木次郎入道  
善と云者小養けれり天姓不双乃勇かあり  
猛く重とあり事大人も不及父業とけん今十二の時  
知小上と父の従弟遠藤三郎龍口遠光を頼る元服し  
遠藤武者盛遠と名乗つて上西門の北面とありける















Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a narrative or commentary related to the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a narrative or commentary related to the illustration.

























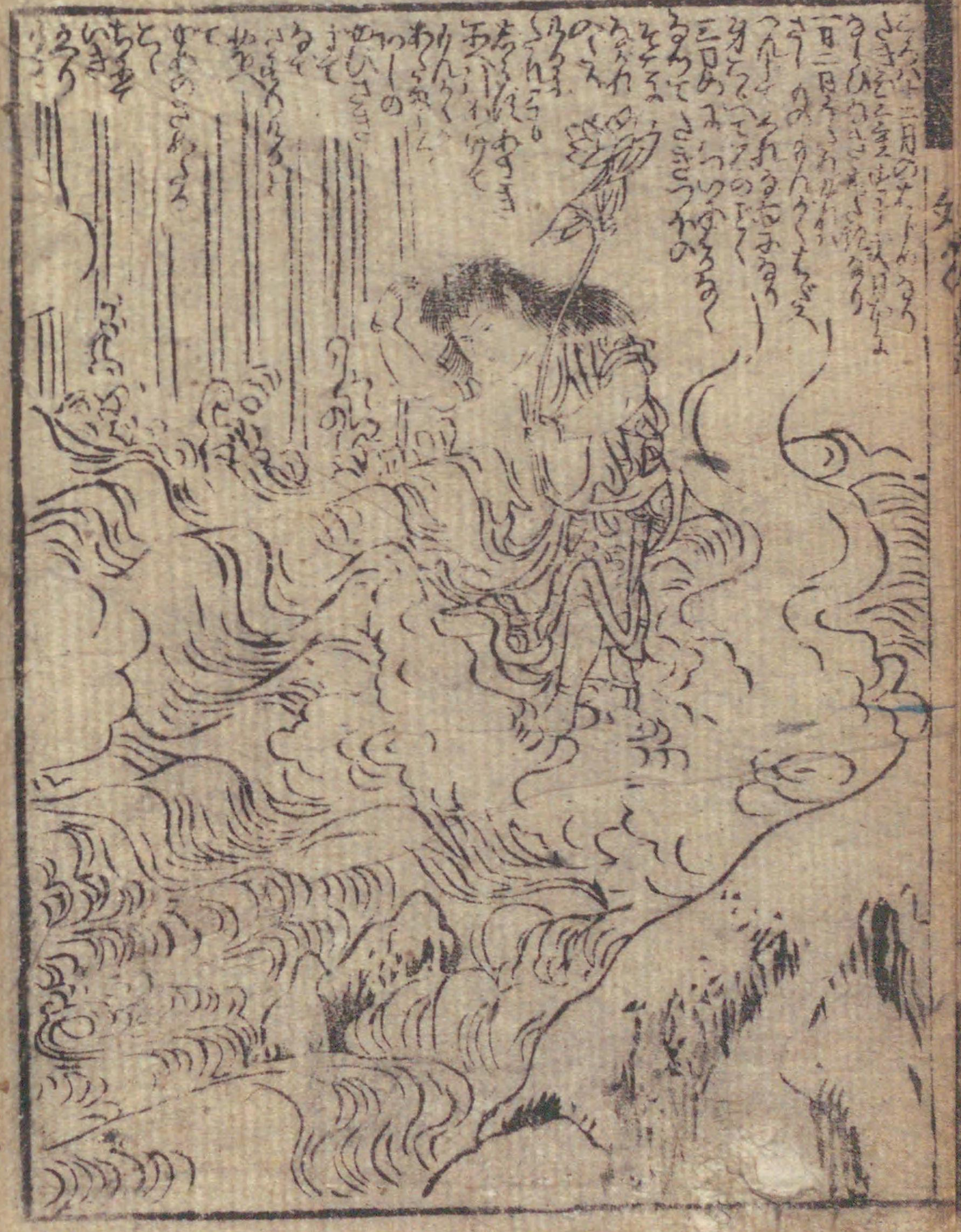


6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9









6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9

















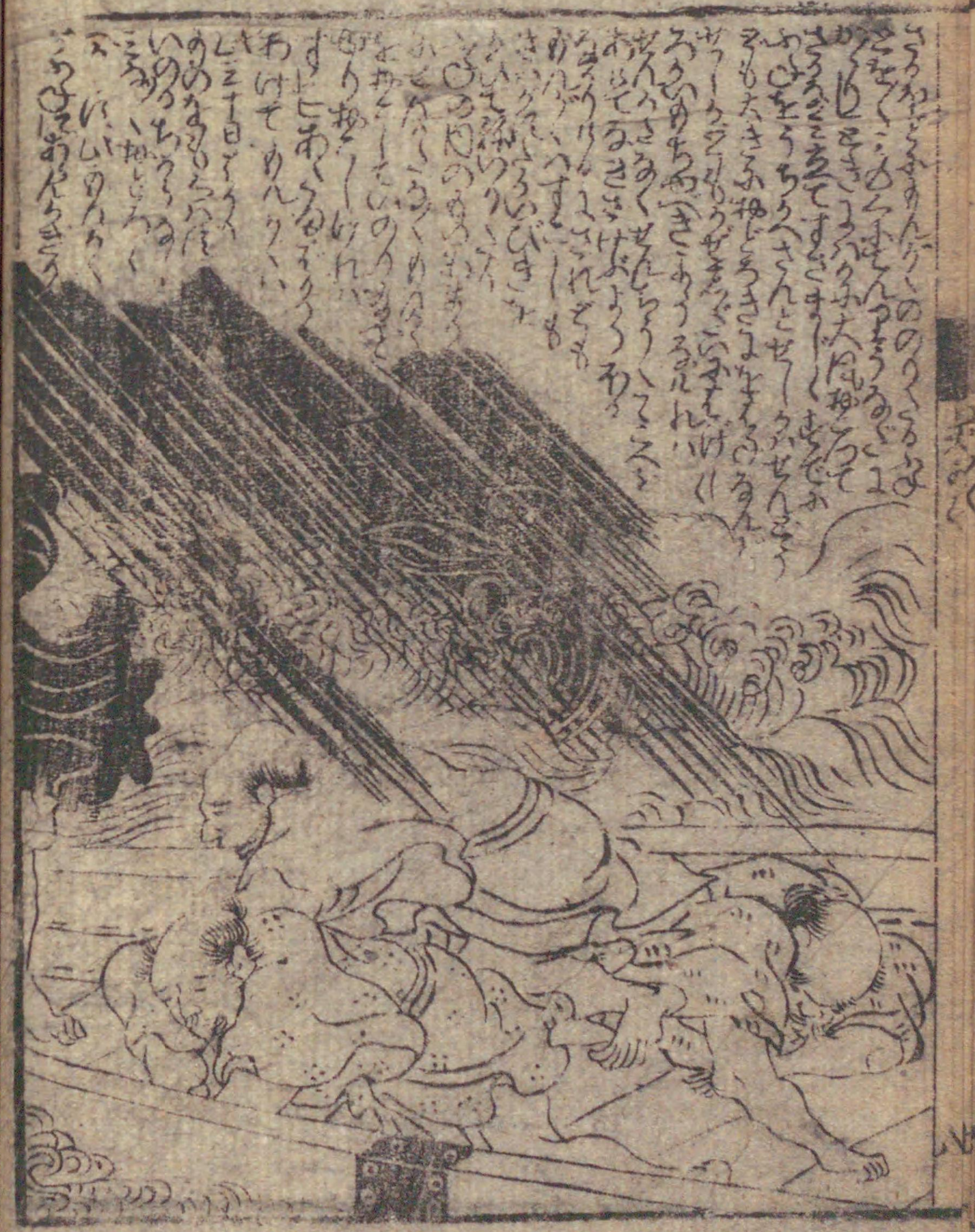




































かきりしれハ  
ほろくろの  
おのりて  
二の代  
の代  
るの代  
かきりしれハ  
ほろくろの  
おのりて  
二の代  
の代  
るの代



それよりより  
はらひし  
ことり  
年  
うけ  
せ  
す  
あ  
さ  
こ  
ち  
く  
下  
い  
さ  
り  
君  
は  
は







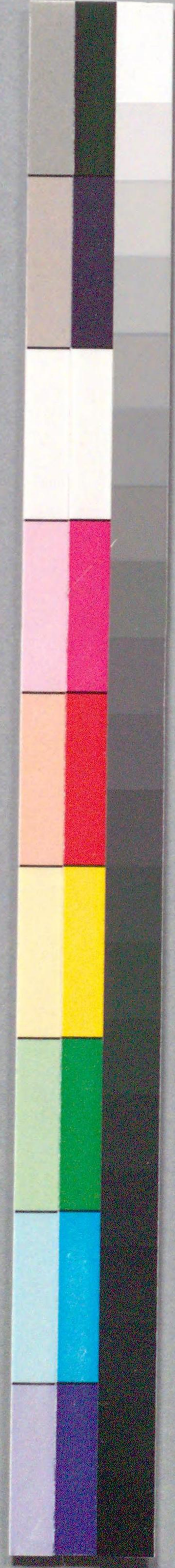


208  
禁  
492

新編  
古今  
文庫







国立国会図書館 文覚勸進帳 5巻 208-492

ガラス使用